

日本語版に寄せて	1
自序 日本語訳の出版に当たって	5
任継愈	
金正耀	

第一章	7
序言	7
後漢時代における道教の成立	13

1 『太平経』の成立とその教義	16
2 張角と太平道	21
3 五斗米道と『老子想爾注』	24
4 『周易参同契』と漢代の方士	28

第二章	35
魏晋南北朝時代の道教	35

1 魏晉時代の風潮と道教の発展	37
2 葛洪と道教神・仙理論体系の確立	40
3 寇謙之の天師道についての改革	48
4 陸修静の道教発展への貢献	54
5 陶弘景と道教の神仙世界	59
6 楼観道と仏教の争い	64

第三章	71
隋唐時代の道教	71

1 隋代の道教	73
2 唐王朝と道教	77
3 唐代の符籙派道教	84

4 唐代道教における煉丹術の興隆	88
5 唐末五代の道教	94

第四章	99
宋元時代の道教	99

1 宋王朝と道教	101
2 道教の符籙派の発展	108
3 道教における内丹成仙信仰の流行	115
4 全真道の興隆	119

第五章	127
明清時代の道教	127

1 明王朝と道教	129
2 『道蔵』の編纂	133
3 明清の二派の道教と民間宗教	135

第六章	143
結語	143

あとがき	151
索引	166
宮澤正順	